

岩手県 軽米町議会

かるまいの議会だより

No. 218

令和元年 7月 24日

笑顔あふれる
仲間へつなぐ

主な内容

📁 特集〔活動目標〕

12 議員で新スタート！ 2

📁 6月定例会 一般質問に4人登壇 9

📁 議会のはてな 常任委員会 15

📁 インタビュー「かるまい町に住んでみて」 16



員で新スタート!

4年間の活動目標です

<令和元年5月1日～5年4月30日>

任期満了に伴い4月21日に行われた軽米町議会議員選挙は、定数2減で新人3名を含む12名が当選しました。任期は、令和元年5月1日から5年4月30日までの4年間で、5月8日、改選後初の臨時議会を開き、投票の結果、議長には松浦満雄議員、副議長には茶屋隆議員が選出されました。各議員の4年間の活動目標を紹介します。

12議



松浦 満雄
議長

定数減で議員一人ひとりの果たすべき責任は重い。積極的に、町民との対話、説明責任を果たし、議長としての中立的な立場で、私心を捨て町政発展、町民の福祉の向上のため、議会のまとめ役に徹して参ります。



茶屋 隆
副議長

町民の皆様方のために副議長としての役割をしっかりと果たし、一生懸命働いて参ります。町民の生の声を町政に届け、誰にも負けない努力と行動力で頑張ります。4年間のご指導、ご鞭撻をお願いします。



山本 幸男
町政調査会長

26歳で初当選、今任期中に50年在職となり責任の重さを感じております。「交流駅」「火葬場」「いちい荘」「町営住宅建設」等、町民の目線で検討したい。町民の「提案」を歓迎します。



細谷地多門
産業建設常任委員長

まちの課題等多々ある中で、豊かな暮らし、希望を持てる地域づくりの為に、町民が議会に、議員に何を期待するのか。町民の思いを「カタチに」を第一に考え、常に信頼を得る議会改革、議員活動を目指します。



本田 秀一
総務教育民生常任委員長

今、軽米町の人口も1万人を割るなど諸情勢は非常に厳しい時であります。皆様と共に英知を結集して、人口減少対策や地域活性化の推進にこれまでの体験を活かしながら誠心誠意努力して参ります。



大村 税
議会運営委員長

温かいご支援と力強いご支持の5期目当選に感謝し、初心貫徹、言行一致を信条に住民本位の立場を基本姿勢とし、生活に希望の持てる町づくりに一生懸命活動をし、責務を果たして参ります。



館坂 久人
総務教育民生常任委員

4期16年間の議員として大変貴重な経験をさせていただきました。この経験と反省を踏まえ、少子高齢化社会の対応と住民福祉向上のため、町民の声を真摯に受け止め、議会活動に全力を傾注する決意です。



田村 せつ
総務教育民生副常任委員長

2期目当選の田村せつです。1期4年間を経験しまして、少しは慣れたような気がします。まだまだ政治に関しては無知ですが引き続き軽米町のために頑張って参ります。どうぞよろしくをお願いします。



中村 正志
議会報編集常任委員長

地域課題等を解決するため、町民視点、対話を重視し、町民の代表として、町政の監視と町民ニーズの政策立案に努めるとともに、町民に理解してもらえ、透明性のある議会改革に全力投球します。



江刺家 静子
議会報編集副常任委員長

「安心して軽米で暮らしたい」「若者が定住できる地域にしたい」と、町民一人ひとりの願いに応えられるように努力します。まちづくりに参加したくなる住民の輪を広げて、町政に生かしたい。



西館 徳松
産業建設副常任委員長

今回の総一地方選挙で皆様の支持のもと初当選することができました。今後は農業委員15年の経験を活かし軽米町の今後の農業問題について一議員として活動して参りたいと思います。



上山 誠
町政調査会副会長

農業・商工業の振興、住民福祉の向上・子育て支援、生涯スポーツの充実、雇用の創出を目指します。町民の声を町政に届け、若い力で、町政にチャレンジし、明るく住みよいまちづくりのために頑張ります。

特別委員会での主な質疑



問 県内統一での改正ということだが、子育て支援を進めている軽米町で他市町村より先進的に

答 これまでも未就学児までの子どもが県内の医療機関を受診したとき、窓口には受給者証を提示することで医療費の窓口負担分を支払わなくてもよかった（現物給付）が、条例改正によって対象者が小学校卒業まで拡大される。

問 県外の医療機関を受診した場合は、こ

答 県内ではほとんど市の町村で小学生までを対象とした医療費助成で、医療費の窓口負担分を領収証書をもって申請することです。その分の給付が行われている。今回、岩手県が先立って現物給付とするものだが、軽米町では中学生、高校生までを対象に医療費助成（償還払い）を行っている。

問 事業の流れと、これまでの商品券と何が違うのか。

答 対象者は世帯主が住民税非課税者で被扶養者ではないこと、生活保護を受給していない世帯主、又は3歳未満の子どもを持つ世帯主となっている。商品券は一枚1千円を想定していて、1回5千円分ずつ購入することができ、最大4回まで購入できる仕組みになっている。5千円分の商品券は4千円



写真はイメージです

プレミアム付き商品券事業実施 消費税増税に伴う国庫補助事

で購入することができ、この事業は消費税増税に伴う国庫補助事業となっている。また、販売は役場と各出張所を想定、使用できる店は町内の商店を考えているが、今後、公募により拡大することも想定している。

未就学児から小学校卒業まで拡大

医療費現物給付の条例一部改正

問 条例改正によって医療機関を受診した場合、具体的にどのような変わるのか。

答 取り組んでいる施策は何か。

問 条例改正によって医療機関を受診した場合、具体的にどのような変わるのか。

答 県内ではほとんど市の町村で小学生までを対象とした医療費助成で、医療費の窓口負担分を領収証書をもって申請することです。その分の給付が行われている。今回、岩手県が先立って現物給付とするものだが、軽米町では中学生、高校生までを対象に医療費助成（償還払い）を行っている。



写真は、令和2年4月の供用開始に向けて工事中の町火葬場の様子

令和元年度一般会計予算の補正

総額 **72億168万円** に

一般会計補正予算（第2号）の主な内容

【歳入】		
・国庫支出金（プレミアム付き商品券事業補助金）	1764万円	
・県支出金（地域経営推進費）	460万円	
・財政調整基金繰入金	△6921万円	
・前年度繰越金	2億2621万円	
・雑入（プレミアム付き商品券販売代金）	3600万円	
【歳出】		
・地域おこし協力隊推進事業	216万円	
・地域力創造推進事業委託料	501万円	
・財政調整基金積立金	1億3800万円	
・風しん予防事業	346万円	
・軽米町移住支援事業	100万円	

会計別歳入歳出予算（6月18日現在）

会計別	予算額	
	今回補正額	予算総額
一般会計②	3709万円	72億1681万円
特別会計	国民健康保険	11億8700万円
	後期高齢者	9110万円
	介護保険①	5万円
	下水道事業	1億6270万円

※金額はすべて1万円未満の金額を切り捨てています
※表中の○数字は補正措置の回数を表しています

〔6月定例会日程〕

6月7日 招集日（議案上程、特別委員会設置）
11日 一般質問（4人）、本会議、常任委員会
12日 一般会計補正予算等審査特別委員会
17日 常任委員会
18日 最終本会議（委員長報告、採決）

令和元年 6月 定例会

いよいよ火葬場建設に着手 ごみ収集車、ポンプ車取得

6月定例会（第2回定例会）は、6月7日から18日まで12日間の会期で開かれました。審査を付託した令和元年度一般会計補正予算等審査特別委員会（中村正志委員長）は3日間の予定を効率的な質疑応答の結果、1日間で終了。18日の最終本会議で、一般会計補正予算等10議案、発議案1件のすべてを可決し、閉会しました。

令和元年度特別委員長報告

6号議案に一部反対も、全議案を可に

付託された10件の議案について慎重に審議した。議案第1号から第3号は関連があり、医療費の現物給付の対象を未就学児から小学生卒業まで拡大するための条例改正だが、当町では子育て支援日本一を標榜していることから、他市町村に先んじ



中村 正志
特別委員長

た施策の提案などの意見が出された。議案第6号の一般会計補正予算に議論が集中し、地域力創造推進事業や地域おこし協力隊の発掘、プレミアム付き商品券事業の内容について詳細に審議した。審議の結果は、議案第6号に一部反対があり、採決した結果、議案第6号は賛成多数で、他の9件は全会一致で可決した。

《6月定例会》 討論

6月18日の最終本会議での発言要旨を掲載

本会議場での討論は議案ごとに、先に反対者、次に賛成者の順番で行われます。

反対	江刺家 静子	対象議案	田村 せつ	賛成
【議案第6号】 令和元年度一般会計補正予算（第2号）				
消費税増税は中止すべき プレミアム付き商品券の導入は、今年10月から消費税8%を10%に増税する分を還元するためのものです。本事業は、住民税非課税世帯と3歳未満の子育て世帯への負担軽減措置です。1回につき4千円で5千円分の商品券を購入できますが、4千円分の手持ち現金がなければ買えません。低所得者等の現状を考えない、住民理解をしない施策と言わざるを得ません。安定的な財源を必要とするための消費税でありながら、増税のたびに景気に大きな影響を与えています。消費税は所得の低い人ほど重い不公平な税制です。 町長は、健康で心豊かに安心して暮らせる町づくりを目指しています。町民生活を守る立場に立って、消費税増税は中止すべきであると声を上げる時ではないでしょうか。このことから、消費税「プレミアム付き商品券」に関する部分について反対いたします。		低所得者や子育て世代への影響緩和 消費税増税について、税率引き上げの時期が延期されるのではないかと、との議論もありますが、本年10月1日に引き上げること、法律で定められており、現段階では法律に準じた対応が必要と考えます。 プレミアム付き商品券事業は、消費税8%から10%への引き上げによる、低所得者や3歳未満の乳幼児子育て世帯への影響緩和と、地域での消費の喚起、生計の下支えをすることを目的に、全額が国庫負担で行われるものです。その事業実施の判断は、市町村の判断によるものとされ、商品券の使用期間は、10月1日以降、来年3月までの半年間と限定されています。軽米町が事業主旨を鑑み、強く推進するとともに、速やかな予算執行のため、今回の補正を行ったことは、補助対象である町民の権利を確保し、少しでも使用期間を長くすることを可能とするものです。以上の見解から賛成とします。		

賛否が分かれた議案の
表決一覧（賛成：○、反対：×、欠席：欠）



議案名	議員名	上山 誠	西館 徳松	江刺家 静子	中村 正志	田村 せつ	館坂 久人	大村 税	本田 秀一	細谷地多門	山本 幸男	茶屋 隆	(※)松浦 満雄	賛成	反対	結果
議案⑥ 令和元年度一般会計補正予算（第2号）		○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	1	可決

(※) 議長は通常、採決には加わらない。

特別委員会での主な質疑

地域おこし協力隊発掘に専門員

商工会に配置し、移住等を強化

問 地域おこし協力隊の採用者が決まって予算計上したもののか。	答 これからの人材発掘になる。地域力創造推進事業と合わせて発掘につなげたい。 これまでは募集しても応募が無いという状況だったが、今年度はどのように募集をするのか。
問 中心商店街の賑わい創出に貢献してもらえぬ地域おこし協力隊員を招致したい。その前に大事なものは町の受入体制の整備が重要と考えている。商工会をはじめ、商工業者によく話し合っで、活躍できる場所、孤立しないで助け合いながら活動できる体制を構築していきたい。今回それに伴って地域力創造推進事業費も予算計上したところである。	答 中心商店街の賑わい創出に貢献してもらえぬ地域おこし協力隊員を招致したい。その前に大事なものは町の受入体制の整備が重要と考えている。商工会をはじめ、商工業者によく話し合っで、活躍できる場所、孤立しないで助け合いながら活動できる体制を構築していきたい。今回それに伴って地域力創造推進事業費も予算計上したところである。
問 受入体制を商工会を中心に構築していくような印象を受けるが、もっと行政が主体的	答 すべて商工会に任せるということではなく、行政と一体となって進めていく。地域おこし協力隊は町が委託して活動してもらうため、町の事業とも整合を図りながら活動してもらう必要があると考えている。 これまで応募が無い要因として、活動内容や受入体制が明確ではなかったことが考えられる。 具体的には商工会に地域力創造推進事業を委託し、都市部との人材、流通・経済等に精通した専門員を確保し、地域おこし協力隊の発掘をはじめ、移住・定住促進、都市部等との交流拡大、中心商店街の賑わい創出といった事業を展開し、町の活性化につなげていきたい。



案件と採決結果

番号等	案件内容	本会議の採決結果	付託審査	採決日	
議案①	軽米町乳幼児、妊産婦及び重度心身障害者医療給付条例の一部改正	可決 (全員賛成)	令和元年度軽米町一般会計補正予算等審査特	6月18日 (最終本会議)	
議案②	軽米町児童及び生徒医療費給付条例の一部改正				
議案③	軽米町ひとり親家庭医療給付条例の一部改正				
議案④	あっせんの申立てに関し議決を求めること				
議案⑤	損害賠償の額の決定及び和解に関し議決を求めること				
議案⑥	令和元年度軽米町一般会計補正予算	可決			
議案⑦	令和元年度軽米町介護保険特別会計補正予算	可決 (全員賛成)			
議案⑧	軽米町火葬場新築（建築）工事の請負契約の締結に関し議決を求めること				
議案⑨	財産の所得に関し議決を求めること				
議案⑩	財産の所得に関し議決を求めること				
発議案①	新たな過疎対策法の制定に関する意見書				
	委員会の閉会中の所管事務調査				



第2回定例会 4人が登壇

一般質問

一般質問とは

- ・定例会に限り、町政全般に関して質問できます
- ・質問項目はあらかじめ事前の通告が必要です
- ・質問者の順番は通告した順番で行われます
- ・同一項目についての再質問は2回までできます
- ・時間の制限はありません

質問議員	質問事項	関連写真
 中村正志 (10ページ)	イベント開催による経済効果 町民総参加でのイベント開催を	
 田村せつ (11ページ)	幼稚園の入園者数減少 保護者のためにも幼稚園の存続を願う	
 江刺家静子 (12ページ)	高すぎる国保税の引き下げを 0歳～18歳の均等割の全額免除を	
 茶屋 隆 (13ページ)	保育園の民営化計画の見直しを 安定的な公立保育園の維持を	

※掲載されている質問要旨や回答内容は要約していますのでご了承ください。
※質問・回答の全文は会議録形式で、町議会ホームページにてご覧いただけます。

《議長・副議長の選挙結果》

(令和元年5月8日執行)

〔議長選挙〕

松浦満雄 6票、本田秀一 4票

江刺家静子 1票、白票 1票

〔副議長選挙〕

茶屋隆 6票、山本幸男 3票、白票 3票

【議案③】一般会計補正予算（第6号）

※※※ 主な補正予算の内容 ※※※

【歳入】

＊農林水産業費県補助金 (84万円)

＊財政調整基金繰入金 (66万円)

【歳出】

＊いわて地域農業マスタープラン実践支援事業費補助金 (150万円)

令和元年度会計別歳入歳出予算（5月8日現在）

会計別	予算額	
	今回補正額	予算総額
一般会計①	149万円	69億8449万円
国民健康保険	—	11億8700万円
後期高齢者	—	9110万円
介護保険	—	6040万円
下水道事業	—	1億6270万円

※金額はすべて1万円未満の金額を切り捨てています
※表中の○数字は補正措置の回数を表しています

町政調査会は、町政全般の調査、研究等を行い、町政の健全運営に寄与するものです。



(写真説明)

会長：山本幸男 副会長：上山誠
幹事：江刺家静子、中村正志、田村せつ

5月8日、議員全員で構成する町政調査会第1回会議も開催され、会長、副会長、幹事3人を選任し、活動をスタートしました。

町政調査会もスタート

【議案①】町税条例等の等の一部改正の専決処分について、全員賛成で承認。
【議案②】過疎地域の固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正は、全員賛成で可決。

監査委員に

大村税氏



大村 税 監査委員

【同意案第1号】監査委員の選任は、賛成多数で大村税氏に同意。任期は4年間です。



次回の町議会定例会は

9月上旬に開かれます

町議会はどなたでもご覧いただくことができます。日程は、議会招集日の1週間から数日前に決定しますので、町ホームページや「かるまいテレビ」、情報無線放送でお知らせします。詳しくは、町議会事務局（☎46—4745）までお問い合わせください。



幼児教育

問 幼稚園の存続を

教育長 認定こども園への移行を視野に



幼児期を過ごす保育園や幼稚園での生活は子どもたちの社会性を育みます（写真は軽米保育園の子どもたち）

問 幼稚園に入園を希望している保護者のために、このまま幼稚園存続を願うが、町として入園減少状況をどのように捉えているか。

【教育長】 入園児の減少については、核家族化や、共働き世帯が増えたことなどが要因と考えられ、園児の少人数化は、集団生活の学びを基本とする幼児教育には望ましくない状況だと考えている。保護者の皆様のニーズに沿った選択肢の一つとして認定こども園を考えている。幼稚園と保育園の機能や特徴を併せ持ち、子育て支援の場が用意され、園に通っていない子供の家庭の子育ての相談や親子交流の場などに参加できる施設と捉えている。



幼稚園の今年度の入園者数は4歳児1名、3歳児1名の計2名（写真は、軽米幼稚園）

問 幼稚園の存続に對してどのようなことを考えているのか。

【教育長】 今まで、幼稚園・保育園が独自の教育課程や指針で教育や保育を進めてきたが、新学習指導要領によって、小学校以降の教育の基盤となる幼児教育の充実が一層求められるようになり、ねらい及び整合性が図られてきている。今後当

町の幼児教育や、施設等をより良いものにするために、認定こども園への移行も視野に入れながら検討していきたいと考えているが、適切な保育環境や、幼児教育の内容の吟味などを丁寧に進め、保護者の皆様が安心して子育てができ、質の高い幼児教育のために、一層努力していきたい。

イベント開催と経済効果

問 イベント開催の目的は

町長 交流人口の拡大等、地域活性化を



観光イベントを通して町のイメージアップと地域の活性化を目指す（森と水とチューリップフェスティバル）

問 町ではチューリップフェスティバルのほか、多くの観光イベントを開催しているが、費用対効果という観点も含め、開催目的は何か伺う。

【町長】 交流人口の拡大、町のイメージアップ、郷土愛の醸成、そして地域活性化につなげていくことを目的としている。

問 交流人口の増とともに町中心部の賑わい創出が重要。

【町長】 FM岩手やSNSを活用した参加の呼びかけなど、新たな取り組みを行っている。町民や各種関係団体、リピーターなど広く協力者を募り、参加者と一体となった事業を展開し、賑わい創出につなげていきたい。

問 町民総参加の開催へ

町長 関係団体の連携を強化

問 イベント開催による経済効果を高めるには、行政の横軸と、各種団体などが連携し、町民総参加での開催という意識を持つことが必要ではないのか。

【町長】 経済効果の視点に立つことは重要と捉えている。イベントの企画にあたっては経営会議や関係団体との連携を強化し取り組んで参りたい。

町長 現時点では実施は難しい

問 イベント開催による経済効果の算定は容易ではないと思うが、町民への還元率なども含めた町独自の評価を考えてもいいと思うがいかがか。

【町長】 町独自で経済効果を検証するには、リサーチ部門の強化、地域経済循環の分析、産業構図を把握すること等が必要となり、現時点での独自評価の実施は難しい。



町道整備と人口減少対策

問 計画的に整備を

町長 地域性・緊急性を考慮し整備を進める



小学校・中学校・高校につながる通学路であり、子どもの送迎で多くの車も通る狭い道路の整備が望まれます。

【町長】町内中心部に未舗装の町道が5路線あり、地元要望等を踏まえ、現地を調査し、地域性・緊急性を考慮、優先順位を整理して整備を進めていく。

【町長】町内中心部のま

い道幅の狭い町道が、子供の通学路・災害時の避難経路になっているので、計画的に整備するべき

【町長】地元の意向を第一とし、整備の緊急性と有効性、必要となる事業費と期待される効果、事業の採択要件、財政状況などを総合的に、そしてその地域に最適な手法を検討していきます。

【町長】軽米町は子育て支援に関して他市町村から注目されているが、子供の数は減っている。更なる支援の充実も必要では。

【町長】平成27年10月に軽米町人口ビジョン総合戦略を策定。本年度は、空き家バンクの創設、地域おこし協力隊の招致、首都圏から町内への就業支援、親元就農支援等、移住定

町長 施策の強化

問 人口減少に歯止めを



追いかけてこをしたりブロック遊びをして元気に遊ぶ子どもたち

住対策を強化することとしている。

【町長】人口減少対策は非常に難しい問題で、まだまだ課題も対策もたくさんあるが、一つ一つ緻密に取り組むべき。

【町長】打てる手は着実に打ちながら、早期に人口減少対策を考えなければいけないと思っている。

国民健康保険税

問 子供の均等割全額免除を

町長 適法か国、県の対応を注視して



【町長】均等割・平等割は、所得の状況にかかわらず賦課されるため、特に均等割分の課税が、子育て世代の負担を重くしている実態がある。こうした実態を踏まえ、国保中央会、全国町村会等の国保関係団体と連携し、確実な国の公費投入や子供に係わる均等割保険税を軽減する支援制度の創設等を要望している。18歳以下の子供であることを要件に減免することが適法か国、県の対応を注視していく。



県立軽米病院は老若男女多くの方が利用する重要な医療機関です

【町長】法定外繰り入れを指しているところ推察されるが、国保財政は国費と保険税で賄うべきとする基本原則に鑑み、現段階では考えていない。

問 払えないのにペナルティ

町長 滞納者に寄り添った支援を

【町長】同じ収入の世帯に協会けんぽより高い税負担を強い、払えないのにペナルティをかける。町民の生活を守る自治体として改善すべき。納税相談はどのような行われているか。

第5次行政改革大綱

問 民営化の推進を削除

町長 幼保一元化を検討

【町長】直接保育や教育を実施できるしくみを町が持つということは極めて重要。保育園の民営化の推進を行政改革から削除を。【町長】今後も核家族化や、共働き世帯の増加等により、幼稚園への入園児が増加することは考えにくく、目下の課題は幼保一元化を検討していくことと考えている。民営化を進める場合には、保護者の意見を聞きながら、丁寧に進めていく。

かるまい 議会だより No. 218
の表紙

5月25日、暑い中、町内3小学校で運動会が行われました。軽米小(写真)では、家族の温かい声援を受け、日ごろの練習の成果を十分に発揮し、元気に、徒競走や演技、応援を頑張りました。



議会のはてな？
しくみを教えて！19

常任委員会とは、所管する事務について請願・陳情が提出された場合の審査、意見書の提出、独自で調査や視察研修等を実施することができ、平成31年4月に当選した議員12名の、各委員会の委員は次のとおりになりました。

じょうにんいんかい
常任委員会

地方自治法第109条に基づき常設されている委員会で、町議会議員で構成されています。現在、軽米町議会には、総務教育民生と産業建設、議会報編集の3つの常任委員会があり、議会運営委員会が、議員はいずれかに所属することとされ、任期は2年と定めています。

常任委員会とは

総務教育民生 常任委員会

総務・税務会計・町民生活・健康福祉・教育の各分野に関する調査等を行います。



委員長：本田 秀一 副委員長：田村 せつ
委員：江刺家 静子、中村 正志、館坂 久人、山本 幸男

議会報編集 常任委員会

議会の審議や活動の状況を町民に周知するため、議会だより編集等を行います。



委員長：中村 正志 副委員長：江刺家 静子
委員：上山 誠、田村 せつ、山本 幸男、茶屋 隆

産業建設 常任委員会

産業振興・地域整備・農業委員会・水道事業等の各分野に関する調査等を行います。



委員長：茶屋 隆 副委員長：西館 徳松
委員：上山 誠、大村 税、細谷 多門、松浦 満雄

議会運営委員会

議会運営に関する調査等を行います。



委員長：大村 税 副委員長：茶屋 隆
委員：西館徳松、江刺家静子、中村正志、山本幸男

検証

追跡

あの「検討します」は…
どうなった？⑪

議員の質問に対して「検討する」などと回答したものが、その後どのように対応し、どうなっているのかを追跡し、検証するコーナーです。

平成30年3月定例会
一般質問、特別委員会 から
Pick up!

問

農村環境改善センター

女性トイレを洋式便座に改修を、
計画的に一つずつでも早期改修を

答

役場庁舎との調整や大規模ハード事業もあり、
予算が厳しい状況にある。事業規模の縮小、利用
状況を総合的に検討し、計画的に整備したい。



洋式トイレの整備
は重要案件の一つ

その後は…

優先順位を決め、
引き続き検討を

31年度予算に反映されていないため、3月議会の特別委員会で質問したところ、「ここ2年間予算要求はしているが、4、5年後の交流駅建設も予定されており、当センターの今後の利用形態等を勘案のうえ、継続検討します。」(担当課)、「優先順位を決めながら引き続き検討していきたい」(町長)と、前向きな答弁は得られませんでした。

ぎかいの視点

洋式トイレ整備は不可欠

緊急かつ重要案件として考えよう！

4年前に女性議員が誕生したのを機に、議会棟に女性トイレが新設されました。
農村環境改善センターは、町の生涯学習の中核施設として、町民誰もが利用します。女性トイレは和式でかつ狭く、不便を訴える人が多いのですが、町では緊急かつ重要案件として考えられないようです。
男女共同参画、高齢化社会、生活様式の変容など、町の公共施設に洋式トイレの整備は不可欠ではないでしょうか。

かるまい町に住んでみて

町民インタビュー Vol. 16



長女・心香ちゃん

妻・愛菜さん

いけはた 池端 孝道 さん

長男・大心くん

秋田県能代市出身 40歳（本町）
妻・長男・長女の4人家族

就職を機に軽米へ

☞ 軽米町で暮らすきっかけと来る前と来てからの印象は？

就職を機に軽米町に来ました。秋田県にずっと住んでおりましたので、失礼ながら軽米町のことは知りませんでした。平成11年の水害を経験し、被害直後からその後の復興まで目にしながら、町民の方々の苦労や努力を拝見し、軽米町の「地域力」を感じました。

PTA活動に関心

☞ 今、関心があることは？

子供達が町内の小学校、保育園にお世話になってます。PTA活動等にも参加するように、学校教育や地域教育に関心があります。

交通アクセスが楽

☞ 軽米町の良いところは？

交通の便が良いです。高速道路・新幹線へのアクセスが楽で、旅行や出張の際に便利と感じます。医療機関も

揃っていて安心できます。町内でのイベントも多くあって町民同士の交流も盛んだと感じます。

イベント参加増を

☞ 他の市町村と比べて

地域イベントに参加する人が年々少なくなっていると感じます。若い世代が気軽に参加してくれるようになると良いかと思っています。

子ども公園欲しい

☞ 町づくりへの思いを一言

「子どものための」公園が欲しいです。子ども同士・親同士の交流の場としても必要かと思えます。また、若い世代が町に住み続けてもらえるよう、働く場所・交流できる場所が必要ではないでしょうか。

募集しています

このコーナーの出演者を募集しています。主に町外から軽米町に來られた方で、町への提言、思いなどをお寄せください。自薦・他薦は問いません。
議会事務局又はお近くの町議会議員までお問い合わせください。

かるまい
議会だより

発行日 令和元年7月24日発行（No.218）

発行者 軽米町議会 議長 松浦 満雄

編集 議会報編集常任委員会

〒028-6302 岩手県九戸郡軽米町大字軽米 10-85

TEL 0195(46)2111 / FAX 0195(46)2335

URL <http://www.town.karumai.iwate.jp/>

議会報編集
常任委員会

委員長 中村 正志
副委員長 江刺 家静子
委員 山本 幸男
委員 茶屋 隆
委員 田村 せつ
委員 上山 誠